

## [ローマ共和政]

前11世紀…ラテン人（イタリア人の一派）がイタリア半島に定住

→ラテン人の集落の一つからローマが成立。

彼らには、**パトリキ**（貴族）と**プレブス**（平民）の身分差があった。

→前9世紀…**エトルリア人**がイタリア半島で栄える。

→ローマは**ティベル川**ほとりに都市を建設。エトルリア人の王を追放して共和政に移行。

### 〈共和政の体制と変化〉

**コンスル**（執政官）…任期2年で貴族（パトリキ）から選出される最高官。

**ディクタトル**（独裁官）…非常時にコンスルから1名選出され、全権をまかされる職。

**元老院**（セナトゥス）…貴族の長老からなり、政治の実権を握る。

**平民会**…平民のみで構成され、**護民官**を議長とする議会。

**護民官**…平民の保護のための役職。貴族、元老院の決定権に拒否権をもった。

前450年頃…**十二表法**：ローマ最古の成文法で、貴族による法の独占の阻止が目的

→前450年…**カヌレイウス法**：パトリキ、プレブス間の結婚を認める。

→前367年…**リキニウス・セクスティウス法**：コンスルの一人は平民から選出

→前287年…**ホルテンシウス法**：平民会の決議を元老院の承認なしに国法とする。

## [半島統一と地中海の征服]

前4世紀半ば～…半島統一戦争

↓

前272年…イタリア半島統一完了

→統一戦争の途中で戦争に**重装歩兵**として参加した平民の地位が高まり政治制度が変化。

前264年～…**ポエニ戦争**(全三回) : vs フェニキア人(植民市**カルタゴ**)

ローマは対外領域の獲得を目指す。

第1回…ローマは**シチリア島**を征服。最初の属州とする。

第2回 前216年…カンネーの戦い : カルタゴの武将**ハンニバル**に攻め込まれる。

→前202年…**ザマの戦い** : ローマは**大スキピオ**の活躍でハンニバルを破る。

第3回…ローマがカルタゴを滅ぼす。

### 〈ポエニ戦争の結果〉

- ・シチリア島を中心にローマの属州ができる。
- ・属州の徴税請負などを担当した**騎士階級**(エクイテス)が台頭。
- ・属州の土地、奴隷を使用した大土地経営 : **ラティフンディア**が発達。

→前135年 : シチリア島の奴隷反乱

- ・ラティフンディアが発達した結果、中小農民が没落。
- 彼らは、都市に流入し、「**パンと見世物**」を有力者に求めた。
- 元老院中心の**閥族派**、民会を中心とする**平民派**が台頭
- ・裕福な貴族と平民が**新貴族**と呼ばれる富裕層を形成

### 〈属州支配の体制〉

分割統治…征服した都市ごとに格差を設け、相互に結んで離反することを防いだ

植民市…ローマ市民と同じく、完全な市民権が認められた。

自治市…軍事・裁判などにおいては市民権を認められた。

同盟市…市民権は認められなかった。

[内乱の一世紀]

ポエニ戦争後、ローマは墮落

→前 133 年…**グラックス兄弟の改革**：土地を再配分して自作農の増加を試みた

→元老院が反発して失敗、ローマは混乱期に陥る：**内乱の一世紀**

→ヌミディア王**ユグルタ**との戦い：ユグルタ戦争

前 107 年…マリウスの軍制改革：**職業軍人制**の確立

→前 91 年～…**同盟市戦争**：同盟市の市民に市民権を認めることで和解

→前 88 年～…**スラ**(閥族派)と**マリウス**(平民派)の抗争

ミトリダデス戦争を経て、スラが抗争に勝利。

→前 73 年～…**スパルタクスの反乱**：スパルタクスが剣奴を率いて反乱を起こす

→ラティフンディアの逃亡奴隷なども加わり、

大勢力になったが、**ポンペイウス**や**クラッスス**が鎮める。

**第 1 回三頭政治**：スパルタクスの反乱を鎮圧した**ポンペイウス**、**クラッスス**に平民派の後継**カエサル**が加わってそれぞれに勢力圏を決め、政治を行った。

→カエサルとポンペイウスが対立。クラッススは戦死。

→前 58 年～ガリア遠征：カエサルがガリア地方を征服

→カエサルは遠征からローマへ帰還後、ポンペイウスを破って終身の独裁官になる。

⇒共和派の**ブルートゥス**らがカエサルを暗殺

**第 2 回三頭政治**：カエサルの後継者：**アントニウス**、**レピドゥス**、**オクタヴィアヌス**が共和派に対抗して結成。

→アントニウスとオクタヴィアヌスが対立。レピドゥスは失脚。

→前 31 年…**アクティオンの海戦** (アントニウス、**クレオパトラ** vs オクタヴィアヌス)

⇒オクタヴィアヌスが勝利して、元老院から**アウグストゥス**(尊厳者)の称号を受ける。

共和政の伝統を重視して、**プリンキパトゥス**(元首制)を行うが実質的には帝政へ移行。

内乱の一世紀終わり！！

[ローマ帝国の成立と発展]

前 31 年…アクティウムの海戦：オクタヴィアヌスが勝利

→元首制(プリンキパトゥス)へ移行。

後 9 年…トイトブルク森の戦い：ゲルマン人に敗れて北西の領土の拡大が止まる。

暴君ネロ帝…キリスト教徒を迫害。在位 54～68 年

〈五賢帝の時代〉：ローマの平和(パックス＝ロマーナ)と呼ばれる平和な時代。

ネルヴァ

トラヤヌス

ハドリアヌス

アントニヌス＝ピウス

マルクス＝アウレリウス＝アントニヌス

五賢帝時代：ローマの平和  
地中海貿易が盛ん

トラヤヌス帝…ローマ帝国の領土を最大とする。

マルクス＝アウレリウス＝アントニヌス帝…ストア派の思想家でもある。著『自省録』

〈都市の発達〉：従軍基地などから、ローマ風の都市が発達。

ウインドボナ…のちのウィーン

ロンディニウム…のちのロンドン

ルテティア…のちのパリ。

## [軍人皇帝の時代]

マルクス＝アウレリウス＝アントニヌスの死後、軍才の乏しい皇帝が続く。

→帝国内各地の軍団が皇帝を擁立して争う時代へと突入。(軍人皇帝の時代)

### 〈帝国内の現状〉

- ・北方からゲルマン人の侵入が続く。
  - ・東方のパルティアとの抗争が長期化し、財政が窮乏。
- 226年に建国されたササン朝ペルシアもローマの国境を脅かす。

### 〈軍人皇帝時代の経過〉

2世紀末…セプティミス＝セウェルス帝が財政改革に励むもあまり効果は上がらない。

→3世紀初め…カラカラ帝の治世

帝国領内の全自由民にローマ市民権をあたえる。(アントニヌス勅令)  
公衆浴場を建築するなど、公共事業に着手。

→3世紀半ば…軍人皇帝ヴァレリアヌスはササン朝ペルシアに捉えられる。

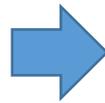
以後もローマとササン朝の争いは続く。

→3世紀末…ディオクレティアヌス帝が軍人皇帝時代を終結させる。

### 〈軍人皇帝時代の変化〉

#### ラティアンディア(大土地経営)

※奴隷の大量使役が基盤。

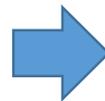


#### コロナトゥス(小作制)

小作人(コロヌス)を用いた農業

#### 市民戦士制

※市民が自分の意志で戦う



#### 傭兵制

守りたい地方の人をお金で雇う

## 〈専制政治とキリスト教〉

3世紀後半…**ディオクレティアヌス帝**が軍人皇帝時代を終わらせる。(彼が最後の軍人皇帝)  
強い権力を持って改革を進めた。

ディオクレティアヌス帝 {

- ・皇帝が強い権力を持つ**専制君主制(ドミナートゥス)**
- ・帝国を4つに分けて統治：**四帝分治(テトラルキア)**
- ・キリスト教徒への大迫害。

→以後、ドミナートゥス(専制君主制)とテトラルキア(四帝分治)の時代が続く。

4世紀初めに、再び帝国全土を支配できる権力を持つ**コンスタンティヌス帝**が現れる。

コンスタンティヌス帝 {

- ・前313年…**ミラノ勅令**：キリスト教を公認
- ・前325年…**ニケーア公会議**
- ・**コンスタンティノーブル**へ遷都

→コンスタンティヌス帝以後、ローマ帝国はキリスト教中心の政治体制を目指す。

ローマ市の影響が強い帝国の西側と、キリスト教の影響が強い東側の分裂傾向が進む。

## [ローマ帝国の崩壊]

- ・ユリアヌス帝…キリスト教中心の社会に反対して異教復活を図るも失敗。

375年…**ゲルマン人の大移動**：**フン人**に領土を脅かされたゲルマン人が、  
侵入を繰り返し、ローマ帝国はさらに混乱状態になる

→東西の分裂がさらに進む中、**テオドシウス帝**が即位。

**テオドシウス帝(位 379~395)** {

- ・前 392 年…キリスト教を国教化
- ・死後、帝国を東西に二分して子に分けあたえた。

〈その後のローマ帝国〉

- ・**西ローマ帝国**…476年にゲルマン人傭兵隊長**オドアケル**が滅ぼす。  
(この476年をローマ帝国の滅亡年とする。)
- ・**ビザンツ帝国**(東ローマ帝国)…1453年まで続く。

## [キリスト教の成立と発展]

### 〈キリスト教の成立〉

前5世紀…ユダヤ教の成立(キリスト教のもとになった)  
→ユダヤ教は形式的な律法主義に陥ってしまう

0年ごろ…**イエス**によるユダヤ教改革。神による救いと隣人愛を説く。  
→イエスはローマ帝国への反抗者とされ、ユダヤ総督ピラトにより処刑される。

⇒死後、三日後に彼が復活したという噂が広まり、彼の示した言葉(福音)に救いを求める思想が広まる。…キリスト教の成立

### 〈キリスト教の発展〉

**ペテロ**…イエスの直接の弟子である12使徒の筆頭。初代ローマ教皇とされる。  
**パウロ**…異邦人(非ユダヤ人)、ローマへの布教に尽力した。  
→ペテロ、パウロ共に64年から始まった**ネロ帝の迫害**で殉教。  
以後、キリスト教徒は地下墓地(**カタコンベ**)で集会を続ける。

### 3世紀後半…ディオクレティアヌス帝による大迫害

→313年…**ミラノ勅令**：ローマ帝国でキリスト教公認。  
325年…**ニケーア公会議**：**アタナシウス派**(**三位一体説**を主張)が正統。  
**アリウス派**は異端とされ、以後ゲルマン人に広まる。  
392年…キリスト教が国教化：テオドシウス帝  
431年…**エフェソス公会議**：**ネストリウス派**は異端とされ、  
中国まで伝わって**景教**と呼ばれる。  
451年…**カルケドン公会議**：**単性論**は異端。  
以後、エジプトの**コプト派**が単性論を信奉した。

### 〈教父によるキリスト教研究〉

教父…正当な教義の確立に努めた人たち。

エウセビオス…皇帝は神の代理人として権力を持つという**神寵帝理念**を唱えた。  
著：『教会史』、『年代記』

**アウグスティヌス**…新プラトン主義(プロティノスが創始)の影響から、  
教会の権威を理論づけた。著：『神の国』、『告白録』

## [ローマの文化]

〈文学〉：古典ラテン語で書かれたラテン文学はアウグストゥスの時代に全盛。  
ヴェルギリウス…『アエネイス』：ギリシアのホメロスの影響を受けた。  
ホラティウス …『抒情詩集』  
オイディウス…『転身譜』、『愛の歌』  
キケロ …雄弁家 著：『国家論』

## 〈思想・哲学〉

セネカ …ストア派哲学者。ネロ帝の家庭教師を務めた。  
マルクス＝アウレリウス＝アントニヌス…哲人皇帝と呼ばれた。著：『自省録』  
新プラトン主義…プロティノスが創始した哲学で、ヘレニズム時代にギリシア  
のプラトン主義哲学とオリエントの思想が融合したものである。

## 〈歴史学〉

リウィウス…『ローマ建国史』：建国よりのローマの歴史を示す。  
プルタルコス…『対比列伝』：ローマとギリシアの偉人を対比。  
タキトゥス…『ゲルマニア』：ゲルマン民族史  
カエサル…『ガリア戦記』：カエサル自身の遠征記録。  
ポリビウス…『歴史』：政体循環史観を唱えた。

## 〈その他の書物〉

ストラボン…『地理史』：地域の史実や伝説を示す。  
プリニウス…『博物誌』：百科事典  
プトレマイオス…『天文学大全』で天動説を唱えた。  
大カトー…『農業論』  
ガレノス…医学の発展に貢献。

〈法学〉

『ローマ法大全』…ユスティニアヌス帝の命で、トリボニアヌスらが作成。  
ローマ市以来の法の集大成。

〈建築〉

コロッセウム(円形闘技場)…剣奴たちが戦った場所。

ローマのものはウェスパシアヌスが建築を始め、  
ティトスが完成させた。

ガールの水道橋…南フランスにあり、わずかな傾斜で水を運ぶ装置。

軍道…ローマから南イタリアへ向かうアッピア街道が有名。

〈暦〉

ユリウス暦…カエサルが制定した太陽暦

→グレゴリウス暦…1582年に教皇グレゴリウス 13世がユリウス暦を改定して  
定めた暦。